

令和8年度矢吹町子ども読書活動推進委員会 第1回委員会 会議要旨

■開催概要

- ・ 日時：令和8年7月2日（木）15:30～16:50
- ・ 会場：矢吹町複合施設 KOKOTTO
- ・ 出席：町内小中学校・幼稚園・図書館・地域団体・保護者ボランティア等

■主な内容

1. 教育長あいさつ

乳幼児期からの言語体験（読み聞かせ・生活体験）を基盤に、「聞く・読む・書く・話す」の言語能力を段階的に育成し、自立した学び手へつなぐ重要性が示された。家庭における言語環境の重要性についても強調された。

2. 令和7年度達成状況（第三次計画）

【成果】

- ・ 移動図書館貸出冊数：目標達成
- ・ 小学生の図書館利用率：目標達成

【課題】

- ・ 家読実施率・おはなし会参加・不読者対策が未達
- ・ 「矢吹子ども読書100選」：
幼児は高水準だが、小学校高学年・中学生で低下傾向

【主な質疑】

- ・ 移動図書館は実施時間や学級数の制約が課題
- ・ 学校・図書館で運用改善を検討

3. 読書活動の取組状況

朝読書、家読、読み聞かせ、図書委員会活動、図書館オリエンテーション、移動図書館等を実施。ビブリオバトル等の特色ある取組も展開。

【委員意見（概要）】

- ・ 家庭・地域・学校連携の重要性
- ・ 家読推進と生活習慣改善の必要性
- ・ 地域ボランティア等の取組は一定の効果
- ・ 学年進行に伴う読書量減少
- ・ 読書ニーズの多様化への対応
- ・ 図書配置・選書支援・探しやすさの改善必要

4. 矢吹子ども読書 100 選

【現状】

- 平成 26 年度開始、令和 6 年度に一部見直し（サポート本追加）
- 発達段階に応じた読書習慣形成を目的

【課題】

- 高学年・中学生の読書離れ
- 指定図書への負担感
- 学校間で活用状況に差

【委員意見（主要論点）】

- 興味関心中心の読書への移行（特に中学生）
- 冊数達成の負担感・達成主義の影響
- 熟読不足（早読み傾向）
- 表彰制度の効果と目的化の課題
- サポート本の効果検証の必要性
- 良書を継続的に読む環境整備の重要性
- 読書本来の目的（読解力・言語力育成）の再整理

■総括

委員会では以下が共通認識として整理された。

- 学年進行に伴う読書意欲の低下
- 読書ニーズの多様化
- 現行制度と実態の乖離
- 達成主義的運用の在り方の再検討必要性

本会議は結論を出す場ではなく、現状共有と課題整理を目的として実施。

今後は第 2 回委員会において、100 選の今後の方向性について具体的検討を進める。

■次回

令和 8 年 10 月 1 日（木）開催予定